



いしかわ労福協

第669/670号 2023年12月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 福田 佳央
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西端3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<https://ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

労福協創立60周年記念講演

金平氏迎え「『新しい戦前』の中で、福祉を考える」をテーマに



金平 茂紀氏

労福協は、1963年8月の創立から今年で60周年を迎えることとなった。

この記念する年に著名人を招いて講演会を行うことを計画し、11月18日(土)に女性センターホールにおいて、ジャーナリストの金平茂紀氏より「『新しい戦前』の中で、福祉を考える」と題して講演を受けた。

当日は、この冬一番の荒天の中、来場が心配されたものの、連合石川加盟団体の労働組合員、北陸労働金庫をはじめとする労働者福祉事業団体役職員に加えて一般募集で申し込まれた市民ら約

300名が訪れた。

はじめに主催者を代表し福田佳央理事長(連合石川会長)が設立から今日までの60年を振り返り挨拶した後、司会から金平氏が紹介され、講演会が進められた。

金平氏は講演で、誰しもが発言できない世の中になり息苦しい時代に入った。その一端が奈良での元総理大臣襲撃事件で明るみになった様々な疑惑のある新興宗教団体と保守勢力との結びつきである。さらに、ロシアのウクライナ侵攻や台湾情勢を巡り日本・韓国も巻き込んだ米中関係の悪化、イスラエルとハマスとの抗争は、世界を分断しての大戦に発展しかねない状況にある。このような、命を落としかねない中でも世界の平和を求める人々を紹介し、何人も思いを自由に発せられる世の中に戻さなければならない。などと講演した。

講演の後、聴講者からの質問に予定時間を超えるほど真摯に金平氏が応え、無事に閉幕した。

講演会開催にあたり、関係各所の皆様にご協力いただきましたことに心より感謝をお伝えします。



金平氏の講演に聴き入る参加者

2024(令和6)年度自治体要請

労福協は、2024（令和6）年度における県下各自治体に対する労働者福祉にかかる政策的要望や活動に対する要望を要望書に取りまとめ、9月27日（水）の自治体担当者と連合石川地方議員団への事前説明を行った。

そして、10月16日（月）を皮切りに県内各自治体を訪ねて要望書を手渡しし、来年度の予算編成において政策などに盛り込まれるよ

う要請した。

各自治体は、多岐に亘る当方の要望を慎重に検討の上、必要なことや実現可能なことには来年度の政策に盛り込めるよう更なる検討や協議を進めたいなどとした挨拶をいただいた。

12月11日（月）馳知事、12月18日（月）の村山金沢市長への要請で、県内すべての自治体への要請を終えた。



〔馳県知事〕



〔金沢市 村山市長〕



〔小松市 宮橋市長〕



〔白山市 田村市長〕



〔かほく市 油野市長〕



〔野々市市 粟市長〕



〔加賀市 深村副市長〕



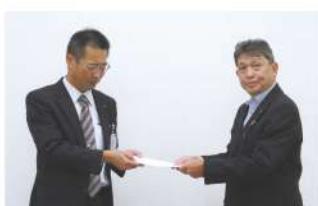
〔川北町 田西副町長〕



〔七尾市産業振興課 中村課長〕



〔能美市産業交流部 谷田部長〕



〔羽咋市総務部 山本部長〕



〔輪島市産業部漆器商工課 稲木課長〕



〔内灘町都市整備部 宮本担当部長〕



〔珠洲市産業振興課 高林課長〕



〔志賀町商工観光課 平井次長〕



〔能登町ふるさと振興課 山下課長〕



〔津幡町産業建設部産業振興課 加藤係長〕



〔中能登町企画課 岩田課長〕



〔穴水町観光交流課 中瀬課長〕



〔宝達志水町商工観光課 守田課長〕

大衆運動活動家を合祀追悼



石川労福協・連合石川等で構成する大衆運動活動家顕彰会は、11月23日(木)の勤労感謝の日に西念3丁目のフレンドパーク石川で式典を行った後、顕彰碑のある卯辰山に移動して新たに4名の故人を記載した銘板を納め、参列者全員が献花をして故人の偲ぶとともにご冥福を祈った。

新たに合祀された方

故 粟森 喬
享年 82 (元参議院議員)



故 水田 茂良(清風)
享年 100 (書家、勤文協参与)



故 荒木 實
享年 93 (元県議会議員)



故 大谷 正男
享年 86 (元金沢市議会議員)



労福協理事会



<第5回>

石川労福協は、11月13日(月)フレンドパーク石川において第5回理事会を開催し、上期の決算及び監査報告のほか、女性有識者による労福協活動検証会の開催などについて承認を求め全ての協議案件を承認した。

また、報告として来年度に向けた県内自治体への要請訪問は、石川県知事と金沢市長の訪問

のみとなつたこと、芋ほり体験会は近隣企業の協力により久しぶりに多くの親子の参加で開催できたことなどが報告された。

<第6回>

石川労福協は、12月18日(月)ANA ホリディイン金沢スカイにおいて第6回理事会を開催し、役員の交代、2024新春の集いライフ・サポートセンター代表者会議等の開催を確認したほか、2024年度活動方針(案)が提示され第7回理事会において予算とともに決定することなど全ての審議事項を提案どおり承認した。

また、報告として来年度に向けた県内全ての自治体への要請訪問は、金沢市長要請にて終了したこと、女性有識者による労福協活動検証会では多くの意見が受けことができ、この先各委員の意見を集約したうえ、理事会への報告と労福協活動へ反映させていくことなどが報告された。

「健康系ニセ科学に騙されるな！」 — 第53回消費者大会で学ぶ —



11月10日(金)「健康食品・サプリを考える」をテーマに第53回消費者大会が石川県地場産業振興センターにて13時30分より104名(会場81,オンライン23)が参加し開催された。

この大会は、石川労福協や連合石川など9団体で構成する消費者大会実行委員会が「消費者のくらしの安全と生活文化の向上をめざして、食の安全、環境、平和、福祉、防災・減災」などのテーマで毎年1回開催している。

現在、健康食品やサプリメントに、本当に効果があるのかどうか分からぬ状況で多額の費用を費やしている消費者が数多くいる。そのことを深く考える必要性があることを訴えた内容となった。

メインの講演は「ニセ科学視点から健康食品・サプリを考える」として東京大学非常勤講師の左巻健男(さまきたけお)氏を招いて行った。

左巻氏は「人は科学を信頼しているが、それを利用した科学っぽい説明に騙されている人が数多くいる。年寄りの会話に健康の話が多い。その健康不安に付け込む商品が多くある」など



の現状が語られた。

そして「一番問題視しているのは健康系ニセ科学。ちゃんと対応すれば助かったのにインチキな治療にハマったばかりに健康を害していることがある」としてがんが治る食品、ダイエットサプリ、健康食品、健康に良い水などの悪例の説明がされた。

また「健康食品・サプリは食品の仲間であって医薬品ではない。医薬品は様々な実験データが必要であり、価格が高いのは莫大な労力と開発費が必要だから。サプリはその労力が少なくすみ高価格になる根拠はない」「欧米では健康食品の規制が厳しいが、日本は甘く欧米で認可にならないものが日本では認可される」などの話がされ、ニセ科学に騙されない知識と情報、見分けるセンスを持つ必要性が述べられた。

講演の後、トラブルが多い健康食品・サプリの定期購入問題(初回は低額、2回目以降から高額になる商法)の危険性について消費者支援ネットワークいしかわの村上副理事長から事例報告が述べられた。

これからの行事予定

開催日	曜日	行 事
1月5日	金	労福協・連合石川2024新春の集い
9日	火	金沢市はたらく人にやさしい事業所選考委員会
13日	土	石川勤労者互助会 映画鑑賞会
17日	水	中部労福協 第4回幹事会(～18日)
20日	土	連合能登・輪島穴水・珠洲能登LSC新春の集い
23日	火	連合かなざわ・金沢LSC2024年NEW YEAR旗開き
26日	金	連合七鹿羽咋・七尾鹿島・羽咋LSC新春の集い

会 場
ANAクラウンプラザホテル金沢
金沢市役所
ユナイテッドシネマ金沢
名古屋市
ホテルこうしうえん
ANAホリディイン金沢スカイ
いこいの村能登半島

第21回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会を開催



石川労福協ライフ・サポートセンター主催の、第21回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会が、10月25日(水)、金沢市市民芸術村「大和町広場」において開催された。

各地域ライフ・サポートセンターから選ばれし精銳208名と石川県障害者スポーツ協会選抜の10名を含む総勢218名が参加し行われた。

大会当日は、天候が心配されたが、健常者と障害者が分け隔てなく真剣なプレーのなかにも和気あいあいと競技が行われ、無事終了した。

次回大会以降も、より多くの参加者が集う大会として開催していく予定である。

大会結果については、以下の通りです。

■団体戦

優勝 金沢地域 LSC 河北 A チーム 292 点

準優勝 白山野々市 LSC A チーム 302 点

3位 金沢地域 LSC 南 A チーム 304 点

4位 金沢地域 LSC 南 B チーム 310 点
(年齢上位)

5位 珠洲能登地域 LSC B チーム 310 点

■個人戦

◇男子の部

優勝 菅原 伸治(白山野々市 LSC) 67 点

準優勝 川本 正明(金沢 LSC) 68 点

3位 加藤 政道(珠洲能登 LSC) 70 点
(年齢上位)

4位 塩村 春男(加賀 LSC) 70 点

5位 鈴木 祥行(金沢 LSC) 71 点
(年齢上位)

◇女子の部

優勝 村井 喜美枝(小松能美 LSC) 69 点

準優勝 猪村 英子(金沢 LSC) 70 点

3位 櫻吉 美智恵(金沢 LSC) 71 点

4位 泉崎 利恵子(珠洲能登 LSC) 72 点

5位 村口 よし子(輪島穴水 LSC) 73 点

親子いも掘り体験会



労福協・子育てネットとライフ・サポートセンターは、10月7日(土)に金沢市五郎島町内において、26家族82名の親子が参加し、「親子いも掘り体験会」を開催した。

参加者は、土から出ている「五郎島金時芋」のツルを確認しながら、親子で協力し、掘り出していた。参加してくれた子供たちは、畑に足を運んだからこそ分かる「ありのままのサツマイモ」を収穫する喜びを、体いっぱいに感じているようだった。

コロナ禍が明けた影響か、昨年の2倍の参加者となり、最後には、親子で掘り出した五郎島金時をお土産に持ち、無事終了した。

ご自宅のパソコンやタブレットで視聴するセミナーです!

第21回
退職前
セミナー



申込受付中

おうちで オンラインセミナー

退職前後のお金と手続きについて

年金・医療保険・介護保険・雇用保険など、

定年退職や再雇用等に伴う社会保険制度や税金について
わかりやすく説明いたします。

申込
締切

2024年

2月20日(火)まで

開講
期間

2024年

3月25日(月)まで

講 師

木村めぐみ

社会保険労務士法人ワイズ代表

西村 大

特定社会保険労務士

開講期間中は
何度でも
視聴
できます

視聴料

おひとり500円

※お支払いはクレジット決済になります。

申込
方法

ウェブよりお申込みください。 コチラから▶



●お問い合わせ

(一社)石川県労働者福祉協議会 ライフ・サポートセンター

〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号・フレンドパーク石川3階

TEL.076-234-0010 (平日10:00~16:00)

第3回「いしかわ県人祭in大阪」協賛